

62 肥効調節型肥料を用いた場合のタバコの生育

福島県たばこ試験場・平成9～12年度試験成績概要

1 部門名 特用作物－タバコ－施肥法・生育調節 分類コード 06－01－13160000

2 担当者 野田正浩

3 要 旨

環境負荷の少ない肥効調節型肥料を用いた場合のタバコの生育について検討した。供試肥料は、肥効調節型肥料ロング424M-70と慣行のバーレー737とした。試験実施ほ場は、肥沃度の高いほ場(平成10～12年)と低いほ場(平成9年、12年)とした。

(1) 初期生育は、肥料間に有意差はなかった。肥効調節型肥料区は年次差があるものの、やや小柄な傾向であった。

(2) 開花期生育は、肥沃度の低いほ場で肥効調節型肥料区が小柄な傾向であった。肥沃度の高いほ場では、肥料の差は見られなかった。

(3) 収穫葉の歩留率は、肥料間に有意差は見られなかったが、肥沃度の低いほ場では肥効調節型肥料区が高い傾向を示した。

(4) 乾葉1枚当たりの重量は、収穫4回目でバーレー737が重かった。その他の葉分に有意差は見られなかったが、幹刈葉分では肥効調節型肥料区が重い傾向であった。肥沃度の低いほ場では、肥効調節型肥料区が軽い傾向であった。

(5) 10a当たり収量は、肥料間に有意差は見られなかったが、肥沃度の高いほ場において年次により肥効調節型肥料区の本葉と上葉の収量が多かった。kg当たり価格は、肥料間、年次間に有意差はなかった。しかし、本葉と上葉の収量が多かった年次は、Aタイプの割合が少なくバーレー737よりも安かった。

(6) 土壌溶液中の硝酸態窒素濃度は、肥効調節型肥料区が小さい値を示した。肥効調節型肥料は、環境保全型タバコ栽培に活用できる。